

オンライン初期日本語教室 「はじめての横浜～日本語で話そう」夏コース

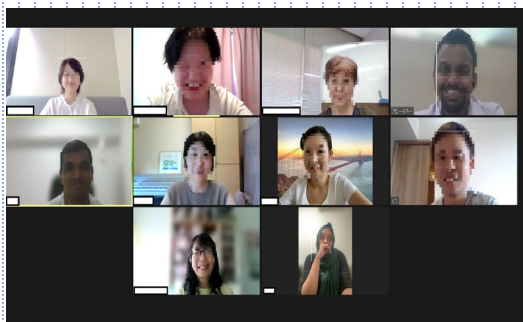
主催：(公財)横浜市国際交流協会

この講座は初めて日本語を学ぶ人、日本語学習経験はあるが横浜に初めて来た人を対象とした教室です。夏コースのテーマは「自己紹介」で、1回1回自己紹介するのに必要な日本語を学習して最後に発表し、その内容に対して日本語で質問し合いました。

最初は緊張していたり、独学で学んだ日本語を上手くアウトプットできず頭を抱えていた学習者もいました。しかし、同じ国の学習者の助けや、スマートフォンを駆使して一生懸命日本語で伝えていました。3グループのうち1グループは日本語が話せない学習者でしたが、講師のサポートもあり全員で行う全体活動も楽しそうに参加していました。

12回目の全体活動では、それぞれ学習者が自分のふるさとの有名な場所や祭り、食べ物などを紹介し、画像を見せたりしながら上手にプレゼンしていました。他の学習者からは、「きれい、美味しそう」など日本語で感想が聞かれ、学習者同士仲良く、楽しい講座になりました。

1. じこしょうかいを します。
2. ふるさを しょうかい します。
さいごに みんなで しつもん します。
Ask each other questions at the end / 最后互相提问



教室名

「はじめて横浜～日本語で話そう」夏コース

講師

押野 成美さん(日本語教師、認定 NPO 法人地球学校)
中村美喜さん(日本語教師、認定 NPO 法人地球学校)
小野里香さん(日本語教師、つづきMYプラザ「あいうえおつづき」)

日時

2023年6月30日、7月4日、7日、11日、14日、18日
21日、25日、28日、8月1日、4日、8日
14:00-15:15 全12回

場所

オンライン (Zoom)

対象

横浜市在住、来日したばかりの人、16歳以上の人
日本語を学習した経験がない、始めたばかりの人

参加者数

日本語学習者 12人(のべ 91人)
(中国、ネパール、サウジアラビア、ベトナム、ウズベキスタン、インド、スリランカ、デンマーク、ミャンマー)

参加者の声

- 横浜の情報がよかった。
- 少し日本語が上手になった。
- グループの雰囲気がよかった。
- 生活に役立つ情報があつた。
- オンライン教室がよかった。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



初期日本語教室「はじめての横浜～日本語で話そう」夏コース

カリキュラム

第1回	教室説明＆「自己紹介」	なし
第2回	「あいさつ」	横浜7月のイベント
第3回	「すみません、よくわかりません」	季節の行事「七夕」
第4回	「日本語で何と言いますか？」	横浜市民防災センター
第5階	第2～4回 復習&文字学習「ひらがな」	図書館①
第6回	「家族は〇〇人です」	夏祭りなどの夏の風物
第7回	「私の好きなもの、好きなことは」	中間アンケート
第8回	「私の趣味は」	図書館②
第9回	第6～8回 復習&文字学習「カタカナ」	多文化共生推進センター紹介
第10回	「私の国は」(地図、言葉、首都など)	商店街&ショッピングモール
第11回	「私の国は」(有名な〇〇)	横浜の公園&動物園
第12回	成果発表「自国紹介」	地域の日本語教室を紹介

最初は名前と国だけの自己紹介が、最終回では名前、国、好きな物、趣味、国の有名な場所や祭りなどバージョンアップした自己紹介ができるようになりました。初めて日本語を学習する人や初めて横浜に住む人など背景は様々でしたが、皆さん仲良く助け合って学習しました。第3回目の学習で数字学習の時、学習者が現金で買い物はしないと行ったことに講師全員で驚きました。第4回の「日本語で何と言いますか？」では様々な物を画面で見せて日本語の名を確認しました。第6回で年齢の話では、「おいくつですか？」と聞かれ、「秘密です」と指を口当ててうれしそうに言った学習者もいました。第8回の「私の趣味」では映画・音楽・スポーツなど、自分の趣味について話しました。どの回も自分のことについての話題だったので、話せる人はどんどん話題を広げ、日本語学習を始めたばかりの人は自分のできる範囲で一生懸命伝えました。今年は昨年度より教室が2回増えたのですが、あっという間の75分、まだまだ話足りない学習者が多かったコースでした。次回は秋コースを予定しています。

教室の基本的な流れ

13:45	ZOOM入室開始
14:00	教室開始 簡単なアイスブレイク
14:10	グループ活動(2～3人の小グループ)
14:50	全体活動
15:00	横浜情報コーナー
15:10	次回の案内
15:15	終了

アイスブレイク(一例)

わたしの my / 我的 おきにいり favorite / 最喜欢的
みせて ください Please show us. / 请给我们看。



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center
<https://yokohama-nihongo.com>
運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!



オンライン初期日本語教室 「はじめての横浜～日本語で話そう」秋コース

主催：(公財)横浜市国際交流協会

この講座は初めて日本語を学ぶ人、日本語学習経験はあるが横浜に初めて来た人を対象とした教室です。毎回学習者が楽しめるテーマを選び、秋コースのテーマは「おでかけ」で、出かけるのに必要な日本語を学習し、最後に学習者同士が誘い合って出かける計画をして発表しました。秋コースは日本語学習初心者の方が多く、文字(ひらがな・カタカナ)を目で追い、講師の発話をしっかりリピートすることから始まりました。皆さんとても熱心で一つ一つ確認しながらノートに書き留めていました。国は違えど、共通言語で助け合い、自国の文化や習慣を交えながら毎回楽しく学んでいました。普段はグループを固定して3つに分けていますが、最後の教室では、グループをシャッフルしてあまり話すことのない学習者と交流しました。横浜情報で紹介した「野毛山動物園」「中央図書館」「防災センター」「三溪園」の中から選んで学習者同士誘い合いました。中には「共通の趣味がスポーツで話が進み、「土曜日に一緒に体育館に行きましょう」と誘い合っていました。



教室名

「はじめて横浜～日本語で話そう」秋コース

講師

小澤照恵さん(日本語教師、認定 NPO 法人地球学校)
原 美峰さん(日本語教師、認定 NPO 法人地球学校)
小野里香さん(日本語教師、「あいうえおつづき」)
木下真梨子さん(日本語教師、YOKE日本語教室)

日時

2023年11月7日、10日、14日、17日、21日、24日
28日、12月1日、5日、8日、12日、15日
14:00-15:15 全12回

場所

オンライン (Zoom)

対象

横浜市在住、来日したばかりの人、16歳以上の人
日本語を学習した経験がない、始めたばかりの人

参加者数

日本語学習者 各6人(のべ 70人)
(中国9人、インド3人、韓国2人、ネパール1人、モンゴル1人、
フィリピン1人、セネガル1人)

参加者の声

- 横浜の情報がよかった。
- 日本語が上手になった。
- グループの雰囲気がよかった。
- 生活に役立つ情報があつた。
- オンライン教室がよかつた。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



初期日本語教室「はじめての横浜～日本語で話そう」秋コース

カリキュラム

日にち		目標 (Can-do 「～ができる」)	横浜情報のテーマ
11月7日	第1回	教室案内&自己紹介 (名前・国)	
11月10日	第2回	時間、場所に合わせたあいさつができる。	野毛山動物園
11月14日	第3回	相手の言っていることがわからない時間き返すことができる。	防災
11月17日	第4回	日本語の言い方がわからないとき、どういばいいか質問して、その答えを理解することができる。	図書館①
11月21日	第5回	第2～4回の復習と文字学習 (ひらがな)	紅葉のきれいな場所
11月24日	第6回	公共交通機関をつかうことができる 自分の行きたい所に行くことができる	公共交通機関
11月28日	第7回		アンケート
12月1日	第8回		図書館②
12月5日	第9回	第6～8回の復習と文字学習 (カタカナ)	横浜市多文化共生総合推進センター
12月8日	第10回	イベントなどに行くかどうか質問したり答えたりすることができる	イルミネーション
12月12日	第11回	相手を誘ったり誘われたりしたとき自分の都合をいうことができる	初詣(伊勢山皇大神宮)
12月15日	第12回	学習発表 (誘いあって横浜情報で案内した場所に行く)	地域の日本語教室案内

秋コースは、日本語を学ぶのが初めての方も多く、ゆっくり、少しずつ丁寧に話していました。言い回しが難しかったのか何度も言い直しながら頑張っていました。2回目の挨拶では、教室終了後に学んだ「お疲れ様でした・ありがとうございました・さようなら・じゃあまた」を使っていました。3回～5回は日本語がわからない時の聞き返しや言い方の回で、自分のわからない日本語についてお互いに質問していました。6回目からは秋コースのテーマの「おでかけ」について学びました。横浜市内のバスや電車の乗り方、切符の買い方から、自分が行きたい場所にどのように行くのか、今どこにいるのか、乗り換えはどのようにするのか真剣にノートに記入しながら学習していました。10回目からは実際にイベントのチラシを見ながら、「いつ」「どこ」を見つけ出し、「はじめての横浜」冬コースの申込みをした参加者もいました。11回目は、「いっしょに〇〇に行きませんか」と誘い合い、「はい、行きましょう」「その日はちょっと…」と断る学習をして、12回目の学習発表につなげました。

教室の基本的な流れ

13:45	ZOOM入室開始
14:00	教室開始 簡単なアイスブレイク
14:10	グループ活動 (2～3人の小グループ)
14:50	全体活動
15:00	横浜情報
15:10	次回の案内
15:15	終了

アイスブレイク (例) 「季節の紹介」



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

「知りたい・やってみよう・つながりたい」
をサポートします！

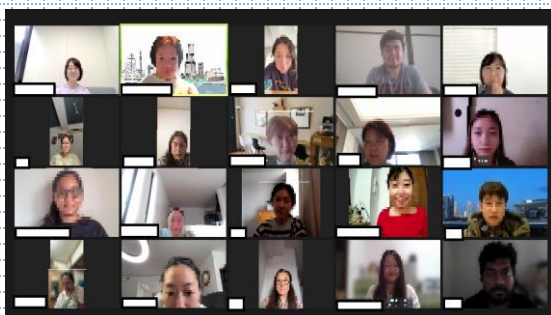


オンライン初期日本語教室 「はじめての横浜～日本語で話そう」冬コース

主催：(公財)横浜市国際交流協会

この講座は初めて日本語を学ぶ人、日本語学習経験はあるが横浜に初めて来た人を対象とした教室です。毎回学習者が楽しめるテーマを選び、冬コースのテーマは「健康」で、病院に行くときに必要な日本語を学習し、最後に学習者同士が「自分の健康法」について発表しました。各コース、1～4回目は自己紹介や日本語がわからない時の対処のしかたや、日本語でどのようにいうかを学習しています。冬コースは日本語学習を初めてする方も多く、一つ一つ丁寧に理解できたかどうか確認しながら進めていきました。日本語だけでは伝わらないところは英語や中国語なども使いながら、学習者によりそって学習しました。

日本に来て間もない場合、言葉がわからないので1人で病院に行く機会がないことも多く、このテーマに関心がある学習者が少ないのではと不安はありましたが、実際やってみると熱心に耳を傾ける学習者が多く、「保険証、診察券、処方箋」等、病院で必要な言葉を繰り返し発音し、ドラッグストアで自分の症状に合った薬を買うフレーズも一生懸命繰り返し練習していました。「自分の健康法」については「白湯を飲みます」、「プロテインを飲みます」、「歩きます」、「野菜をたくさん食べます」などそれぞれ自分の健康法を紹介することができました。



教室名

「はじめて横浜～日本語で話そう」冬コース

講師

小澤照恵さん(日本語教師、認定 NPO 法人地球学校)
押野成美さん(日本語教師、認定 NPO 法人地球学校)
木下真理子さん(日本語教師、YOKE日本語教室)
伊藤直美さん(日本語教師、YOKE日本語教室)

日時

2024年1月12日、16日、19日、23日、26日、30日
2月2日、6日、9日、13日、16日、20日
14:00-15:15 全12回

場所

オンライン (Zoom)

対象

横浜市在住、来日したばかりの人、16歳以上の人
日本語を学習した経験がない、始めたばかりの人

参加者数

日本語学習者 15人(のべ 130人)
(中国 3人、韓国 3人、フィリピン 3人、インド 2人
メキシコ 2人、ネパール 1人、台湾 1人)

参加者の声

- 生活に役立つ情報があった。
- 日本語が上手になった。
- グループの雰囲気がよかった。
- 横浜の情報がよかった。
- オンライン教室がよかった。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

「知りたい・やってみよう・つながりたい」
をサポートします！



初期日本語教室「はじめての横浜～日本語で話そう」秋コース

カリキュラム

「はじめてのよこはま」冬コース カリキュラム

日にち		Can-do	いろどり	はじめまして	横浜情報	
1月12日	第1回	教室案内 & 自己紹介 (名前・国)				
1月16日	第2回	時間、場所に合わせたあいさつができる。	1課		豆まき	
1月19日	第3回	相手の言っていることがわからない時間き返すことができる。	2課		防災	
1月23日	第4回	日本語の言い方がわからないとき、どういえばいいか質問して、その答えを理解することができる。	2課		図書館①	
1月26日	第5回	第2～4回の復習 (ひらがな)			公共交通機関	
1月30日	第6回	体の部位や症状について話すことができる	初級 15課	ユニット10	図書館②	
2月2日	第7回	病院に行くことができる			アンケート	
2月6日	第8回	薬局やドラッグストアに行くことができる			商店街	
2月9日	第9回	第6～8回の復習 (カタカナ)			春節	
2月13日	第10回	健康にいいこと、悪いことを話すことができる	初級 16課	ユニット11	横浜市多文化共生総合推進センター案内	
2月16日	第11回	自分の健康法などを話すことができる			公園 (梅&桜)	
2月20日	第12回	自分の健康法を発表する			地域の日本語教室案内	

冬コースは、日本語を学ぶのが初めての方も多く、ゆっくり、少しずつ丁寧に話していました。言い回しが難しかったのか何度も言い直しながら頑張っていました。2回目のあいさつでは、仕事で途中抜けする学習者が「お疲れ様でした、お先に失礼します」を使っていました。3回～5回は日本語がわからない時の聞き返しや言い方の回で、自分のわからない物の名前をお互いに質問しました。6回目からは冬コースのテーマの「健康」について学びました。顔の部位や体の部位の名前、「～が痛いです・かゆいです」などの症状、病院の受診のし方、医者とのやりとり、薬局やドラッグストアでの薬の買い方などを学び、病院に行ったことがある学習者は体験談を話していました。「健康にいいこと、悪いこと」では、皆さんそれぞれに「毎日、歩きます」「野菜をたくさん食べます」、中には「夜中の3時までオンラインゲームします、健康に悪いことです」と話している人もいました。11回目は、「自分の健康法」を話し、12回目の学習発表につなげました。

教室の基本的な流れ

13:45	ZOOM入室開始
14:00	教室開始 簡単なアイスブレイク
14:10	グループ活動 (2～3人の小グループ)
14:50	全体活動
15:00	横浜情報
15:10	次回の案内
15:15	終了

横浜情報 (例) 「春節」



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!

